

羽区
新地

ふくしのわ

題字 長澤 茂

第3号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 小山 勇吉
編集人 米山 進
港北区新羽町1525
☎(541)0869

中学生とゲートボール

新羽ゲートボール責任者 秋元 信一

昨春秋、新羽町会体育指導員より、中学校で自由活動に、ゲートボールを取り入れたので協力してはしいとお話がありました。学校には、用具がないとのこと、早速地元でゲートボールをやっているクラブにお願いし、用具



の準備が整い、十一月二十四日、校庭で、午後一時より、生徒男女二十八名、地元老人会代表十三名町会体育指導員、先生と開講式を行い、ゲートボール責任者から学校へ、用具を贈呈致しました。生徒の中に、ゲートボールが分らない人があるかと思ひ、老人会の方々が実試合を行ないながら、競技ルール・作戦を説明しました。

一年生から八十歳位までの人が混って、五人で一組になり試合を行うゲートボールは、一ゲートから三ゲートまで玉を順番に通さなければ得点になりません。一ゲート通過して二ゲートにある玉に打撃したら、当って大喜びする生徒、一ゲートが通らなくて交代する大人。ゲートボールは、力・速さ・年令は関係ありません。今年は、五月に行いましたが、年二回位、生徒と交歓試合を行う予定です。

ゲートボール大会に参加して

新羽中学校 三年 高桑 大輔

各地区の元気なお年寄が集まり、いっしょにゲートボールをやることになりました。

最初に練習から始めましたが、なかなか上手にできませんでした。試合が始まり、ルールなどを親切に教えてもらい、だんだんとわかるようになってきました。一試合目は、ルールなどがあまりわからず負けましたが二試合目は、よくわかるようになりました。勝つことができました。その後も試合を続けましたが、一回しか勝てませんでした。元気なお年寄には、なかなか歯がたちません。

明るい社会
明るい社会
新羽小六年 神田 直子

明るい社会をつくるのは
ひとりひとりの思いやり

新羽小六年 飯島 康雄

文集「若い芽」より

ぬくもり

老人福祉推進員

金子 不二

幼児が母の胸や手に初めて感じたもの、それはぬくもりであったと思う。そっと伝わる感触こそ生涯を通して、生きとし生けるものの、すべての命の源であろう。昨年暮の十三日地区老人福祉推進員の方々と、新吉田町の高台に建つみどり園を訪問致しました。ここには家族と離れ、老後を過している方々が静かな雰囲気包まれて生活されています。お会いするまでは淋しくはないか、落ちこんでいられるのではと、気になったが介護の方に支えられたり車椅子を押していただき集まって来られた姿を見て、ホッとしました。行き届いた介護をうけ、安心して老後の生活を営む、こう云う施設の充実が最大の課題だろう。色紙の輪飾りで壁間が飾られて温かい思いだった。同行した人々の歌や踊りに笑顔で拍手を送って下さる心中を察し、目頭に熱いものを感じました。私は寝たきりや一人暮らしの方を訪問する時に、色紙やチラシを使って千羽鶴を作りお贈りしていたので、この時も持参しましたら、所長さん御自身で天井に吊り、「皆さんの為にいただきました。」と、ご紹介下され恐縮いたしました。ささやかなことでしたが、心にぬくもりを感じ帰途につきました。



「子供会フェスティバル」を終えて

(八月八日開催)

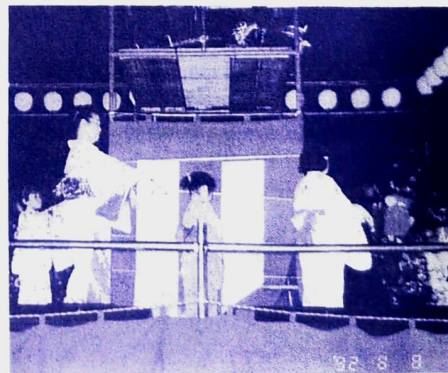
新羽連合子供会会長 白岩 金男

此度、新羽連合子供会の行事として初めて計画致しました「子供会フェスティバル」を無事終えることができ、ご協力頂きました各団体を初め、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

子供達も学校が週五日制になり、今迄は学校と家庭でしたがこれからはさらに地域が加わり、何かと家庭と地域との交流が必要になることでしょう。

この「子供会フェスティバル」が地域全体の交流を生じ、一人でも多くの子供と大人との和を作る機会となり、さらに犯罪のない明るい町作りの手助けになれば幸いです。

今後共地域の皆様の温かいご理解とご協力により「子供会フェスティバル」が益々発展致しますよう宜しくお願いします。



はじめてせきを ゆずったこと

新羽小学校 二年

木村佐和子

このあいだ、二年生ぜんいんてつなしまのたなばたを見に行きました。

中のくぼのバスでいからべっしよまでバスにのりました。

一人よりのイスに友だちと二人ですわっていたら、前におじさんが立っていたので、わたしと友だちは、せきをゆずりました。おじさんが、「ありがとう。」と言ってくれたので、いいことをしたんだなと思ってうれしかったです。これからバスやでん車にのるときも年をとった人やからだのふじゆうな人に、せきをゆずりたいと思います。

せきをゆずったこと

新羽小学校 二年

中川 広光

二年一組と二組で中のくぼからバスにのりました。まず、お金をいれました。

べっしよでおりて、しんごうをわたりました。それから、つなしまえいかんの前をとって、イトーヨーカドーの前で止まって先

生の話をききました。たなばたまつりを見に行っただけで、見れなかったです。しょうてんがいを見学しました。

かえるときにバスにおじさんがのってきました。ぼくはせきをゆずってあげました。そしたら、おじさんが、ぼくに「ありがとう」といってくれました。

植物の管理

新羽小学校 五年

鈴木亜妃子

私の家の一番大きな木は、いつも大きな葉をつけています。

その木はこの前、二階から落ちた妹の命を救ってくれました。その木は、日曜日に切るはずだったのですが、しばらく残されることになりました。

私はいつも生き物の管理ができません。だから犬が飼いたくても飼えません。妹のことから植物を大切にしたいと思いました。

学校では、毎年菊を育てることになっていきます。今年の菊は昨年の菊より、もっと大事に育てたいと思います。

植物にも小さな命があります。「いつでも どこでも そしてだれでも」というビデオを見て、も

っと大切に植物の管理をしていこうと思いました。

みどり園のおじいちゃん

新羽小学校 五年

中村 恵

毎年私の町内会では、おみこしやおまつりをやります。

おみこしの時は、みどり園の中をまわります。みんなは、はくしゅをして見てくれます。泣いているおとしよりもいます。

ヘルパーの人が、「きょうはとてありがとうございました。みんなこの日を楽しみにしていました。」と言っていました。

おまつりも、とってもよろこんでいるそうです。

私達の学校は四年生になると、サツマイモやジャガイモをみどり園のおじいさん、おばあさんにとどけます。行った友だちが、とっても喜んでいて言っていました。もうサツマイモはもっていきません。おまつりの時に、とっても楽しくあげたいです。そして、みどり園のおとしよりだけでなく、バスの中や電車の中でも、座席をゆずったり親切にしてあげたいです。

「福祉講座」感想

第一回福祉講座を去る二月十四日、新羽中央会館で開催。『戦国時代の新羽とその周辺の歴史』と題して、法政大学教授・芥川龍男先生にお願いしました。七十四名の方が聴講されました。

「歴史講座に参加して」

中央町内会会計 中山 定雄

先ずもって新羽社協の発足を喜ぶ一人です。そして一年足らずの間に多面に亘り活動される姿を見聞きし、嬉しく思い感謝しています。

今回の歴史講座は先人の姿を想い福祉土壌の育成が目的とか誠に意義ある講座と思いました。

知らないことは古老に聞いて努力の積み重ねが、更に歴史を作るものであり、文化財とは二度とできない何ものにもかえがたいもので役所だけでなく住民も守るものであること。

鎌倉街道とは、秩父方面にも鎌倉街道がありますが、どうして鎌倉なのか、今度の講座で一つ利口になりました。

更に芥川先生のお話で五十年前の小学生自身の歴史を思い出し、懐かしくとりとめもないことを書きましたが、私にとって誠に有意義のある寸時を過ごすことができました。



賛助会員の皆様へお礼

港北区社会福祉協議会・賛助会費、平成四年度分。(七月三十一日現在) 皆様の温かいご理解とご協力によりまして、三四〇名。金一、三六三、〇〇〇円也、区社協の方へ納金致しました。新たに会員となられました方、ご芳名は、次号にご報告させていただきます。

〔新羽地区社協事業概要〕

- ◆ 会報発行「ふくしのわ」第三号。
- ◆ 社会福祉施設の慰問。
- ◆ 赤い羽根、たすけあい運動。
- ◆ 年末たすけあい運動。
- ◆ 会員相互の親睦。
- ◆ 在宅福祉活動。
- ◆ 福祉講座の開設。
- ◆ 新入学児童への黄色の帽子贈呈。
- ◆ 賛助会員の募集。(随時)

◎編集後記◎

「ふくしのわ」第三号は、いかがでしょうか？

「明日への福祉活動」をテーマに、より楽しい紙面にしたいと一同努力しております。

今春、広報委員の大谷正憲氏が急逝されました。心より冥福をお祈り致します。

広報委員に一部交代がありまして、お知らせ致します。

忍田松三、甲斐順子、北村達子の三氏に変わります。五十嵐繁夫、勝山きい子、平尾信子、堀井佳一になりました。(米子)